






フルコートf

 使用上の注意	解 説
<p> してはいけないこと (守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなります)</p> <p>1. 次の人は使用しないでください。</p> <p>(1) 本剤によるアレルギー症状を起こしたことがある人。</p> <p>(2) 抗生物質又は副腎皮質ホルモンによりアレルギー症状を起こしたことがある人。</p> <p>2. 次の部位には使用しないでください。</p> <p>(1) 水痘(水ぼうそう)、みずむし・たむし等のある患部</p> <p>(2) 湿潤、ただれのひどい患部。</p> <p>(3) 目、目の周囲。</p> <p>3. 顔面には広範囲に使用しないでください。</p> <p>4. 化粧用やひげそり後用として使用しないでください。</p> <p>5. 長期連用しないでください。</p>	<p>過去に本剤によって発疹・発赤、かゆみなどのアレルギー症状を経験したことのある人が、本剤を使用しますと、アレルギー反応を引き起こすことがあります。</p> <p>過去に抗生物質又は副腎皮質ホルモンによって発疹・発赤、かゆみなどのアレルギー症状を経験したことのある人が、本剤を使用しますと、アレルギー反応を引き起こすことがあります。</p> <p>フルオシノロンアセトニド(合成副腎皮質ホルモン)は局所の抗炎症作用がありますが、一方では免疫反応を抑制します。そのため水ぼうそう、みずむし・たむしなどの患部を悪化させることがありますので、使用しないよう注意喚起しています。</p> <p>湿潤やただれのひどい人は、すみやかに的確な投薬又は処置を必要とする場合が多く、医師の診療を受けるようお勧めください。</p> <p>本剤を眼瞼皮膚に使用しますと、眼圧亢進、緑内障を起こすことがあります。</p> <p>副腎皮質ホルモン外用剤を顔面に広範囲に長期連用した場合、酒さ様皮膚炎の発現が報告されていますので、顔面の患部が広範囲の場合には使用しないよう注意喚起しています。</p> <p>本剤は皮膚疾患治療薬ですので、化粧下地などの化粧用として、また、ひげそり後用として使用しないよう注意喚起しています。</p> <p>本剤には副腎皮質ホルモンに該当する成分が含まれていません。長期間又は大量使用によって皮膚の萎縮、毛細血管拡張を起こすことがありますので、長期連用しないよう注意喚起しています。</p>
<p> 相談すること</p> <p>1. 次の人は使用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。</p> <p>(1) 医師の治療を受けている人。</p> <p>(2) 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。</p>	<p>医師の治療を受けている人は、医師から何らかの薬剤の投与又は処置を受けており、自己判断で他の薬剤を使用することは、同種薬剤の重複投与や相互作用などを引き起こすおそれがありますので、医師に相談するようお勧めください。</p> <p>人によっては配合成分や添加物でアレルギー症状を起こすおそれがあります。過去に薬や食品、化粧品等によるアレルギー症状の既往歴のある人は、薬物アレルギーを起こしやすいので注意が必要です。</p>

 使用上の注意	解 説						
(3) 顔、口唇などの粘膜に使用する人。 (4) 患部が広範囲の人。 (5) 深い傷やひどいやけどの人。 (6) 妊婦又は妊娠していると思われる人。 (7) 高齢者。	顔面や粘膜部位は皮膚が薄く、吸収率が高いため、長期連用により副作用があらわれることがあります。 患部が広範囲の場合は、医師の診療を受けることが望ましい場合もありますので、自己判断で薬を塗布しないよう注意喚起しています。 深い傷やひどいやけどの場合は、医師の診療を受けることが望ましい場合もありますので、自己判断で薬を塗布しないよう注意喚起しています。 妊娠時に使用した薬剤は血液中に移り、胎盤を通過して胎児に悪影響を与えるおそれがありますので、妊婦は安易に薬剤を使用するのではなく、慎重を期す必要があります。一般に妊婦は定期的に医師の診療を受けていますので、薬剤の使用に際しては医師に相談するようお勧めください。 一般に高齢者では、腎・肝機能などの生理機能が低下していることが多く、薬剤の作用が強くあらわれることがあるので、使用前に医師等の専門家に相談することが必要です。						
2. 使用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに使用を中止し、この添付文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。	配合されている成分により、あらわれることが予測される副作用症状を記載しています。これらの症状があらわれた場合には、直ちに使用を中止し、本剤の添付文書を持って医師の診療を受けるようお勧めください。〔みずむし・たむし等の白癬、にきび、化膿症状、持続的な刺激感、白くなる〕：本剤に含まれているフルオシノロンアセトニド（合成副腎皮質ホルモン）は局所の抗炎症作用がありますが、一方では免疫反応を抑制します。そのため皮膚刺激感や皮膚の真菌症、細菌感染症及びウイルス感染症を引き起こしたり、ステロイド皮膚により持続的な刺激感があられることがあります。また、局所のメラニン産生抑制作用がありますので、白くなる場合があります。						
<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="209 1160 347 1189">関係部位</th> <th data-bbox="347 1160 710 1189">症状</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="209 1189 347 1218">皮膚</td> <td data-bbox="347 1189 710 1218">発疹・発赤、かゆみ、ただれ</td> </tr> <tr> <td data-bbox="209 1218 347 1310">皮膚(患部)</td> <td data-bbox="347 1218 710 1310">みずむし・たむし等の白癬、にきび、化膿症状、持続的な刺激感、白くなる</td> </tr> </tbody> </table>	関係部位	症状	皮膚	発疹・発赤、かゆみ、ただれ	皮膚(患部)	みずむし・たむし等の白癬、にきび、化膿症状、持続的な刺激感、白くなる	
関係部位	症状						
皮膚	発疹・発赤、かゆみ、ただれ						
皮膚(患部)	みずむし・たむし等の白癬、にきび、化膿症状、持続的な刺激感、白くなる						
3. 5～6日間使用しても症状がよくなる場合は使用を中止し、この添付文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。	5～6日間使用しても症状の改善が見られない場合には、他の原因も考えられますので、使用を中止し、本剤の添付文書を持って医師の診療を受けるようお勧めください。						
〈用法・用量に関連する注意〉							
(1) 用法・用量を厳守してください。	医薬品にはそれぞれ有効な用法・用量が決められています。それを下回った場合には効果が得られないこともあり、また、定められた用量以上大量に使用しても、効果はそれに比較して上がるわけではなく、場合によっては副作用があらわれるおそれもあります。薬は定められた用法・用量を正しく守ることが大切です。						
(2) 小児に使用させる場合には、保護者の指導監督のもとに使用させてください。	小児の自己判断による使用は、誤用や思わぬ事故につながるおそれがあるので、使用に際しては保護者による適切な指導監督が必要です。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 一般的に乳児は1才未満、幼児は7才未満、小児は15才未満をいいます </div>						

 使用上の注意	解 説
(3) おむつのあたる部分に使うときは、ぴったりしたおむつやビニール製の密封性のあるパンツの使用はしないでください。	本剤塗布後、直ちに通気性のないフィルムで覆ったり、通気性のないフィルムに薬剤を含んだ材料を塗っておき、患部に貼り付けたりすると、水分の蒸発が抑えられ、角質層の含水量が増大し、薬剤の吸収が増大するので、副腎皮質ホルモン剤の全身的副作用があらわれることがあります。
(4) ラテックスゴム製品との接触は避けてください。	本剤の基剤として使用されている油脂性成分は、コンドームなどの避妊用ラテックスゴム製品の品質を劣化・破損する可能性があるため、これらとの接触は避けるよう注意喚起しています。
(5) 目に入らないように注意してください。万一、目に入った場合には、すぐに水又はぬるま湯で洗ってください。なお、症状が重い場合には、眼科医の診療を受けてください。	万一、目に入った場合、目の周辺は刺激に対して敏感なため、充血を起し腫脹をきたすことも考えられます。このような場合、直ちに水洗いし、取り除かなければなりません。水洗後も刺激が続き、流涙がはげしい場合は眼科医の診療を受けるようお勧めください。
(6) 外用にのみ使用してください。	定められた投与経路、適用部位以外への使用は、思わぬ副作用を引き起こすおそれがあります。
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">保管及び取扱い上の注意</div>	
(1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に密栓して保管してください。	各々の製品により定められた保管条件を守らないと品質の劣化や期待する効果が得られない等の悪影響を及ぼすおそれがあります。
(2) 小児の手の届かない所に保管してください。	小児の誤飲・誤用を防止するために注意喚起しています。
(3) 他の容器に入れ替えないでください。(誤用の原因になったり品質が変わります。)	他の容器に入れ替えると、入れ替えた薬剤が何であったか分からなくなったり、湿気、汚れ、光などにより薬剤の品質が保持できなくなるおそれがあります。
(4) 使用期限を過ぎた製品は使用しないでください。	使用期限とは、最終包装の形態で流通下における通常の保存条件(室温)下で保管された場合に、その性状や品質を保証できる期限です。各製品毎に実施される安定性試験(原則として、最終包装製品を室温で保存)のデータに基づいて設定されています。